

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

今回はテレビや新聞などのメディアから発信される情報と、「表現の自由」について考えてみたいと思います。

こうした情報について考えるときに、前提として理解しておかなければならないことがあります。それはメディアから流される情報は、事実に対してなんらかの評価が加えられて流されているということです。そこには評価し、判断する人の考えや価値観が反映されています。

テレビや新聞を見ていると、どうしてもそこに書いてあることだけが客観的な真実のような気がしてしまいます。しかしそのニュースは世界中に無数にある事件の中から番組制作者や編集者が選択したものです。どのニュースを報道するかを一定の価値観に基づいて判断した結果です。

テレビならば何分放送するか、どのような映像を流すか、反対の人の意見をどうするかなど、すべて番組制作者の意見と価値観がそこには反映されます。そして、^①そのような報道を正しくないと考える人がいるかもしれません。けれど、「この番組内容は中立的でないから変更したほうがいい」という批判もまた、ある価値観に基づいた一つの主観的意見にすぎないということになります。

問題はどのように意見が対立したときに、誰がどのようにその善し悪しを決めるのかということです。国や政治家が、「この内容は偏^{かたよ}っていてよくないから内容を變更^{へんこう}すべきだ」ということを、一方的にメディアに押しつけることができるとしたらどうなるでしょうか。それでは

A

しか流されなくなってしまう。

たとえば、アメリカがイラク戦争を始めるときに、「イラクには大量破壊兵器が隠されていてテロリストとつながっている」という情報だけが、政府の影響を受けてメディアから大量に流れ、多くのアメリカ国民がそれをもとにイラク戦争賛成という判断をしてしまいました。

B、その情報はまちが이었다ことが今では明らかになっています。何万人もの命を奪う結果になるような、重大な判断材料となる情報が正しく流れず、国民が自由に情報に接することができないと、大きな不幸をマネクという一例です。

メディアから流される情報の善し悪しは国や政治家のような権力をもった者が判断するのではなく、あくまでも、情報を受け取る側である国民がみずから判断するべきものなのです。国や政治家はメディアの報道内容に口をさしはさむべきではありません。

私たちには、国の干渉^{かんしょう}を受けずに自由に表現し、かつ情報を受け取る自由（知る権利）が保障されています。憲法二一条一項は「集会、結社^{けつしゃ}及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する」とキティ^⑤していますが、これは「表現の自由」とともに国民の「知る権利」を保障したものだと考えられています。表現行為は情報の受け手が存在してはじめて意味をもつものですから、二一条一項は情報が公表されてから受け手が受け取るまで、その過程のすべてを国家権力による干渉^⑥からホゴ^⑦しているのです。

私たちは自分の思いや考えを人に知ってもらったり、また、人の発表するものを見たり聞いたりすることで、より幸せになることができます。C、アーティストは自分のつくった楽曲を多くの人に聞いてもらうことで、みずからの才能や役割を確認し、喜びを感じるのだと思います。そして私たちも、好きな曲を自由に聞いて楽しむことで心が豊かになります。もし、「この曲はよくない曲だから聞いてはいけない」と国が決めつけてきたら、みなさんも納得できないでしょう。

このように何かを表現したい、知りたいという欲求は、もっとも人間らしい、私たちの本質にかかわるものなのです。「その人」らしさという意味では人間の尊厳にかかわるものです。

D「表現の自由」「知る権利」は私たちの政治にとってフカケツ^④であり、民主政治^{注3}にとって重大な意味をもちます。民主政治は一人ひとりの国民がその知りえた事実に基づいて判断した考えを、議論を通じて実現しようとするものです。国民が十分に議論をして何が正しいかをみんなで見つけようとしているときに、「こう考えなければだめだ」と特定の考え方を押しつけられたのでは、民主政治は成り立ちません。

そもそも民主主義は、何が正しいかわからないからこそ、みんなで議論しお互いの考えをぶつけ合って、もっともよいものをみつけ出そうとするものです。そこでお互いが自由にものを言えなければ成り立たないのです。

国や政治家が特定の考えをメディアに押しつけることも、メディアの自由な報道に何らかの影響^{あた}を与えるような行動をと

ることも許されません。国や政治家などの権力をもつ者は、国民の思想や言論活動といった精神的な営みのリョウイキ^⑧には立ち入ってはいけないのです。

それは「表現の自由」を侵害^{しんがい}し、人間の尊厳を傷つけるだけでなく、民主主義の本質^③をつき崩^{くず}してしまうことになるのです。

（伊藤真『中高生のための憲法教室』）

注1 イラク戦争Ⅱ二〇〇三年にアメリカがイラクを攻撃^{こうげき}して始まった戦争。

注2 結社Ⅱ目的を達成するために作られる組織。

注3 民主政治Ⅱ民主主義に基づく政治。

問1 ゴッ線a・eのカタカナを漢字に直しなさい。

問2 ——線①「そのような報道を正しくないと考える人がいるかもしれませんが、「そのような」の内容を解答らんに合うように二十字前後で説明しなさい。（、もふくみます）

問3 ——線②「主観的」と反対の意味の言葉を、——線②より前の本文中から漢字三字で抜き出しなさい。

問4

A に入れるのに最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 国や政治家に反発するような番組や記事
- イ 国や政治家の気に入った番組や記事
- ウ 国や政治家の関係者のための番組や記事
- エ 国や政治家が興味を持たない番組や記事
- オ 国や政治家が悪いと感じた番組や記事

問5

B D に入れるのに最も適当な言葉を、次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。
ただし、同じ記号は一度しか使えません。

- ア 一方 イ さらに ウ しかし エ ところで オ たとえば

問6

線③「民主主義の本質をつき崩してしまう」とありますが、左の文は筆者がそのように考えた理由を説明したものです。
X Y に入れるのに適当な内容を、それぞれ三十字以内で答えなさい。(、や。もふくみます)

国や政治家がメディアに対して X によって、国民は自由にものを言えなくなり、 Y という民主主義が成り立たなくなるから。

問7

次のア～キについて、本文の内容と合うものを二つ選んで、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 「イラクには大量破壊兵器が隠されている」という情報に基づいて国民がイラク戦争賛成という判断をしたアメリカでは、民主政治が成り立っているといえる。
- イ テレビの報道には番組制作者の意見や価値観が反映されているため、報道内容についての反対意見が出やすいが、その善し悪しは総理大臣が判断するべきである。
- ウ 国や政治家が曲の善し悪しを決めることによってアーティストは国の影響を受けた曲をつくるようになるが、表現したい欲求は満たされるため人間の尊厳は守られる。
- エ 民主政治とは、国や政治家に考え方を押しつけられることなく、知りえた情報について国民が自由に言い合っ
- オ て判断した考えを実現していく政治のことである。
- カ 憲法二一条一項で保障されている「知る権利」とは、国民が国の干渉を受けずに得た情報の内容について、国民同士が自由に批判し合う権利のことである。
- キ 自分の思いや考えを何かに表現したり、誰かが発表したものを見聞きしたりする行動には「その人」らしさがあり、国や政治家はその行動に干渉するべきではない。
- キ 国や政治家などの権力を持つ者は、番組制作者の意見や価値観が反映された番組を批判したり、好きなアーティストの曲を自由に楽しんだりしてはいけない。

〔二〕 次の各問いに答えなさい。

問1 次の①～③の各文について、——線部が同じ意味で用いられているものを、後のア～エの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

① 父親が車で迎えに来た。

ア 本を読んで感想を書きました。

イ 姉は高校生で音楽部に入っている。

ウ 国語辞典で言葉を調べる。

エ 田中さんがクラスの委員長である。

② 彼はこのクラスをまとめられる人だ。

ア もうすぐお客さんが来られる。

イ 部屋が広く感じられる。

ウ 先生に成績をほめられる。

エ スイカならいくらでも食べられる。

③ 誰に相談すればいいか分からない。

問2 次の①～⑤の□に入れるのに最も適当な色の名前を、後のア～エの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

① 朱に交われれば□くなる。□子の手をひねる。

② 隣の芝生は□い。彼はまだ□二才だ。

③ 突然のことに頭が真っ□になる。□紙に戻す。

④ 彼は腹が□い。一家の大□柱。

⑤ 人の話を□化する。妹はお□目だ。

ア 赤	イ 白	ウ 黄	エ 青	オ 緑
カ 黒	キ 茶	ク 紺	ケ 紫	コ 灰

問3 次の①～⑤の□に入れるのに最も適当な漢字を、「不・無・非・未・否」の中からそれぞれ一つずつ選んで、上の字が下の字を打ち消す熟語を作りなさい。ただし、同じ漢字は一度しか使えません。

① □ 認 ② □ 熟 ③ □ 利 ④ □ 理 ⑤ □ 行

〔三〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

一九九五年一月十七日、阪神淡路大震災が発生した。主人公のニケ（丹華）は震災のために父母を失い、自分自身も重傷を負ったが、医師のゼロ先生に助けられ、一命をとりとめることができた。以来、ニケはゼロ先生の養女となり、ゼロ先生と暮らす毎日であった。

「ただいまあ。おっちゃん」

「さもとら医院」と文字が貼られたサッシ戸をカラカラと引いて、元気よく丹華が声をかけた。プレハブの狭苦しい待合室に座っていた、白衣の後ろ姿が、長い髪をふわりと揺らして振り向いた。

「あ、来た来た。待ってんよ、ニケちゃん」

そう言って立ち上がったのは、神戸市立三宮病院心療内科の研修医、石塚由衣だ。

「あ！ ゆい姉やっ」

足を引きずりながら、丹華は由衣に向かって突進した。由衣は上半身をかがめて、丹華を抱きとめた。

「ひさしぶりやね。元気やった？」

やさしく丹華の頭をなでて、由衣が訊いた。丹華は、うん、と元気よくうなずいた。

「ゆい姉、なんで来へんかったん？ お仕事やったん？」

「うん。病院のほうに、いま、大変で……もう、めっちゃ忙しいねん。こっちへ来たかってんだけど、なかなか時間が作られへんかったの」

そう答えてから、由衣は、そっと丹華の右足をさすった。

「足、どない？ がんばって歩いてる？」

丹華は、また、うん、とうなずいた。

「歩いとおよ。友だちみんなに、どんどん追い抜かれてまうけど……ニケ、がんばっとおよ」

「そう。それやったら、よかった」

由衣はふんわりと微笑んだ。丹華は、由衣がかもし出す「何やらふんわりした感じ」がとても好きだった。長い髪もふんわり、笑顔もふんわり。胸も、手も、ふんわりやわらかで、抱きつくと、ふんわりといいにおいがする。

ニケも、大人になったら、ゆい姉みたいな女のひとになりたいな。

そんなふうにあこがれてもいた。

とごろが、そのあこがれの人を、ゼロ先生はこき使っているのである。

「由衣、カルテの準備、途中やで。さっさとせなあかんやないか」

診療室のドアを乱暴に開けて、丸い銀縁メガネのひげ面がのぞいた。そして、丹華の姿をみつけると、

「おう、ニケ。帰ってきとったんか。そろそろ出かけるけど、お前も行くか？」

丹華は、うん、とうなずいてから、はっきりと返した。

「おっちゃん、ゆい姉を怒らんといて。ゆい姉は、ニケのこと待っててくれたんやもん」

ゼロ先生は、きょんととして丹華を見た。そして、

「別に怒ってへんぞ。はよ準備せえへんかったら、なかなか出かけられへんから、文句を言うただけや」

「文句言うたらあかん。お手伝いしてもろてるのに、文句なんか言うたらばちがあたるもん」

ゼロ先生は、待合室に出てきて、丹華を真上から見下ろした。

「なんや、お前、えらい生意気言うようになったなあ。たいしたもんや」

気持ちよく笑って、いつものように、丹華の頭をくしゃくしゃとなでた。

丹華は、この「くしゃくしゃ」も、大好きなのである。これをゼロ先生にやられると、たちまち気持ちがゆるんでしまう。ゼロ先生は、きつとそれを知っていて、ふたりのあいだの空気を和ませたいときに、丹華の頭をくしゃくしゃとするのだ。

「すみません、すぐ準備します。……いつもより、ニケちゃん、帰ってくるのが遅いなあ思って、ちょっとサボってしまった

んです」

由衣は、いかにもすまなそうに言って、丹華と目を合わせ、軽く片目をつぶった。^①丹華も真似をして、軽く片目をつぶったつもりが、思いっきり両目をつぶってしまった。

「なんや、お前ら、ヘンな顔しよって」

ゼロ先生が、また笑った。今度は、由衣も丹華も、一緒に笑った。

「さあ、ささと準備準備。ニケ、お前も手伝うてくれや。カルテ揃えるくらいはできるやろ。あ、そのまえにこの札、外に出してきてくれるか」

「夕方休診」の札を手にして、丹華は表へと出た。サッシ戸につけてあるフックに、札を引っかける。

毎週金曜日の夕方は、ゼロ先生が長田区内のいくつかの仮設住宅を、ボランティア医師として回診する日だった。

由衣も、やはりボランティアの研修医として、臨床研修のときに世話になったゼロ先生を手伝い、回診に参加している。

そして丹華は、名実ともに、ゼロ先生の「かばん持ち」として、回診にお供させてもらっている。

診察室で、由衣はゼロ先生の大きな黒いかばんに、カルテを詰め込んだ。そして、筆記用具などが入った小さな布製のバッグを、丹華に手渡す。これを持っていくのが、「かばん持ち」である丹華の仕事のひとつなのだ。

「ほな、行こか」

元気よく、先生が言う。由衣と丹華も、元気よくうなずいた。

ゼロ先生と由衣は、短めの白衣を着て、医者然としたいでたちだ。仮設住宅をボランティアで回るのだから、ふつうの格好でもいいのかもしれないが、「なんぼボランティアでも、白衣で診るのが礼儀やろ」とゼロ先生は言っていた。それに、白衣で接すると、自然と、そして正直に不調を訴えてくる人も多いらしい。逆に、「医者嫌いや」と敬遠する人もいるらしいが。

丹華は、金曜日が大好きだった。こうして、ゼロ先生と、あこがれの由衣と一緒に、あちこちの仮設で家庭訪問をし、そこに暮らす人々に会える。最初は、なんで子供と一緒にいてるん？ と不審そうな目を向ける人も多かったが、そのうちに、むしろ歓迎されるようになった。特にお年寄りは、丹華の顔を見ると、たちまち目を細める。

「ニケちゃん、今日も来てくれたんか。おおきに」

そう言って、頭をなでたり、手を握ったりしてくれる。最初は、丹華のほうも勝手がわからず、おっかなびっくりだったが、「いっぱい頭なでももらええ。じじはばのご長寿パワーで、元気になるはずやで」

ゼロ先生にそうアドバイスされて、お年寄りに会うのが楽しみになった。

「ニケ、なんもせえへんのに、いつも、おばあちゃんらに、ありがとうって言われるねん。なんでやろ？」
先生に訊いてみると、

「ええやないか。子供は、なんもせんかて、お年寄りにはうれしいもんなんや。そこにいてるだけで、ありがたい気持ちにならはるんやろ」

そんな答えが返ってきた。丹華は、ちょっとうれしくなって、

「ニケも、おじいちゃんおばあちゃんと一緒にいてると、ありがとうって言いたくなるねん」^④

ゼロ先生は、にっこり笑って、頭をくしゃくしゃとしてくれた。

元気あらへんお年寄りには、元気な子供がいちばんのお薬になるねん。

ゼロ先生は、それをよく知ってはるのよ。

こっそりと、由衣が教えてくれた。

ニケちゃんはおじいちゃんおばあちゃんのお薬やねんから、元気いっぱい一緒にいてくれたら、それでええんよ——と。

(原田マハ『翔ぶ少女』)

注1 心療内科Ⅱ 心と体の両方に注意しながら、病気を治そうとする医療。

注2 研修医Ⅱ 勉強するために病院などで働く医師のこと。

注3 足をひきずりながらⅡ ニケは震災の時に足を大けがし、それ以来、右足が不自由になっている。

注4 仮設住宅Ⅱ 震災などで家を失った人のために、国などが貸し与える住宅のこと。

注5 回診Ⅱ医師が患者のもとに診察に行くこと。

注6 臨床研修Ⅱ研修医が勉強のために、実際に病院などで患者を診察すること。

注7 医者然としたいでたちⅡ医者らしい身なり。

問1 〰〰線a) e)の漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。

問2 Ⅱ線Ⅰ「きょ」とんとして、Ⅱ「勝手にわからず」の本文中の意味として最も適当なものを次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- Ⅰ
- ア 激しく怒っているニケに腹を立て、思わず反発して
- イ いきなり正しいことを言われたので、自分が悪かったと思って
- ウ ニケが勘違いしていることがわかって、にやついて
- エ なぜニケがそんなことをいうのか、わからずに驚いて
- Ⅱ
- ア お年寄りがどういう病気なのか、わからず
- イ お年寄りにどう対応していいのか、わからず
- ウ お年寄りが誰が誰なのか、さっぱりわからず
- エ どれほど多くのお年寄りがいるのか、わからず

問3

——線①「軽く片目をつぶった」とありますが、由衣はなぜそのようにしたのですか。その説明として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア わざわざかばって来てありがとう、と感謝の気持ちを伝えるため。
- イ 自分と一緒に、急いでゼロ先生に謝ってしまうことをすすめるため。
- ウ ゼロ先生に負けないように、そのまま頑張^{がんば}って怒り続けさせるため。
- エ とにかく謝ってさえおけば、ゼロ先生はわけもわからず許してくれるため。

問4

——線②「自然と、そして正直に不調を訴えてくる人も多いらしい」とありますが、なぜそのようになるのですか。その説明として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 医師としてのゼロ先生の評判は非常に高く、誰もがゼロ先生に診てもらいたいと思っていたから。
- イ 医師らしく見えないゼロ先生でも、白衣をつけると立派なお医者さんに見えてくるから。
- ウ 医師らしいゼロ先生は、白衣をつけなくても立派なお医者さんにしか見えないから。
- エ 医師であるゼロ先生は、白衣を着なければ礼儀に反すると思い、診察できなくなるから。

問5

——線③「歓迎されるようになった」とありますが、お年寄りがニケたちを歓迎していることがわかる動作を、それぞれ五字以内で、三つ書きなさい。

問6

——線④「ありがとうって言いたくなるねん」とありますが、ニケはなぜ「ありがとう」と言いたくなるのですか。二十五字前後で答えなさい。(、や。もふくみます)

問7

——線⑤「ニケちゃんはおじいちゃんおばあちゃんのお薬」とありますが、具体的にどういことですか。三十字前後で答えなさい。(、や。もふくみます)

解答用紙

得 点

問 1 $(-)$

(d)	(a)
	$\prec$
(e)	(b)
	(c)

問
2

[illegible]

報道

問
3

問 4

--

問 5

B
C
D

問
4

問
5

B

C

D

問
6

[illegible]

問
7

Y

[illegible]
$$[=]$$

①
②
③

問
2

①	
②	
③	
④	
⑤	

問
3

①
②
③
④
⑤

問 (三)

⑤	④
	③
	②
	①

問
2

I	
II	

問 3

--

問 4

--

問
5

[illegible]

問
6

[illegible]

問
7

[illegible]